



国民春闘共闘

2022年度 第4号
2021年11月29日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第3回集計

単純平均 1.96ヵ月 585,026円、加重 605,584円
前年同期比 単純 +0.09ヵ月・+17,718円、加重 +43,531円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月26日、第3回の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	879	808
うち 妥結組合	255(29.0%)	168(20.8%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象	2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	月数	1.96	1.87
	額(円)	585,026	567,308
加重平均	額(円)	605,584	562,053
	組合員数	206,311	198,439

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

	組合数	うち前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	月数	643	519(80.7%)	1.97	1.91
	額(円)	324	234(72.2%)	613,050	590,593

<非正規の仲間の回答状況>

	時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数 (0.912)	1.455 (1.361)	1.297 (0.750)	1.539 (1.441)
	額(円) (47,821)	61,396 (184,264)	84,823 (56,866)	263,287 (102,600)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

回答引出し・妥結状況

11月26日の年末一時金第3回集計には、別表の21単産・部会から報告が寄せられました。879組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は831組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している762組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.96ヵ月で、前年同期(20/11/27、1.87ヵ月)を0.09ヵ月上回っています。回答金額が判明している466組合の単純平均は、585,026円で前年同期567,308円を17,718円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの平均)は605,584円で前年同期(562,053円)を43,531円上回っています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な643組合の単純平均を前年実績と比べると、1.97ヵ月で、前年実績(1.91ヵ月)を0.06ヵ月上回っています。額では324組合の単純平均で、613,050円で前年実績(590,593円)を22,457円上回っています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の7単産165組合から263件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、建交労、JMITU、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連から154件の獲得報告となっています。月数報告のあった124件の単純平均は0.989ヵ月で、前年最終(0.912ヵ月)を0.077ヵ月上回っています。また、金額報告のあった59件の単純平均は61,396円で、前年最終(47,821円)を13,575円上回っています。

月給制労働者では73件の獲得となり、月数の単純平均は1.455ヵ月、金額で225,473円といずれも前年実績を上回っています。

時給制の継続雇用者では、15件の引き出しとなり、月数の単純平均で1.297ヵ月、金額では84,823円となっています。

月給制の継続雇用者では21件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.539ヵ月、金額では263,287円となっています。